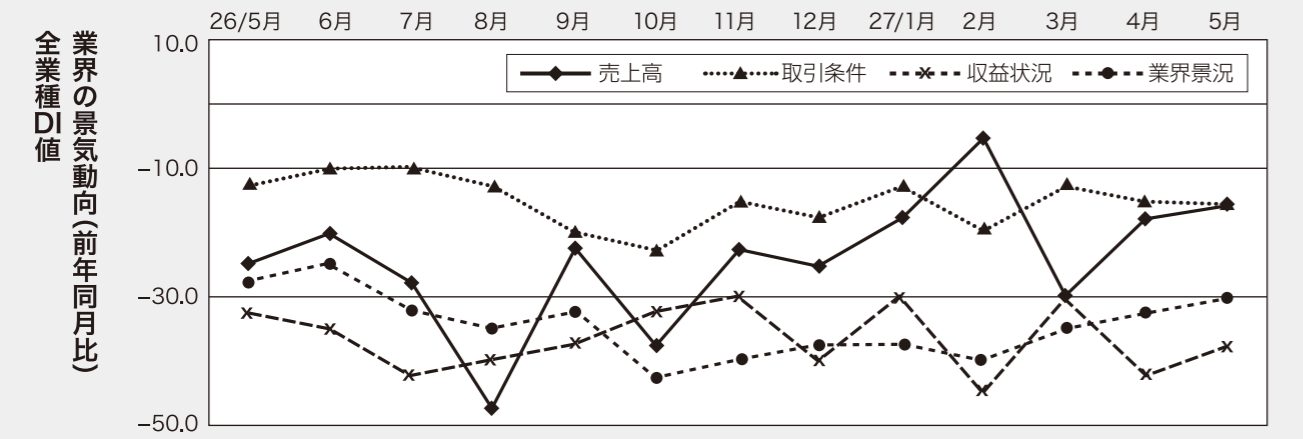


◆ 平成27年5月度 情報連絡員報告 ◆



	26/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-25.0	-20.0	-27.5	-47.5	-22.5	-37.5	-22.5	-25.0	-17.5	-5.0	-30.0	-17.5	-15.0	2.5
取引条件	-12.5	-10.0	-10.0	-12.5	-20.0	-22.5	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-12.5	-15.0	-15.0	0.0
収益状況	-32.5	-35.0	-42.5	-40.0	-37.5	-32.5	-30.0	-40.0	-30.0	-45.0	-30.0	-42.5	-37.5	5.0
業界景況	-27.5	-25.0	-32.5	-35.0	-32.5	-42.5	-40.0	-37.5	-37.5	-40.0	-35.0	-32.5	-30.0	2.5

平成27年5月の前年同月比DI値は前月に比べ、「取引条件」を除くすべての項目が改善した。「取引条件」は増減がなかったものの、「売上高」、「業界景況」が2.5ポイント、「収益状況」が5.0ポイント改善した。DI値は上昇傾向にあるが、業種や取り扱う製品によってばらつきが出ている。また円安の影響による輸入原材料等の価格が上昇しているにもかかわらず、販売価格への転嫁ができていないとの声もあり、依然として先行きを注視する必要がある。

伊勢志摩サミットが決定！伊勢うどんPRに取り組む。(麺)

具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	<p>麺 生めん、冷凍めんは昨年に比べて資材・副資材・原料の高騰が続き、価格に反映がされない状況である。唯一伊勢うどんについては今回伊勢志摩サミットが決定し、今後伊勢うどんをPRしていけるチャンスである。いろんな企画に取り上げてもらえる様、組合をあげて取り組んでいく。</p> <p>テントシート エアバックのリコール問題で年明けから大手自動車メーカー関係の仕事の発注が減少している。</p> <p>鍍金 当業界の生産量は、全体的に4月とほぼ同様であった。自動車関連部品はメーカーにより減少したままの企業と、従前と変わらなかった企業と二分された状態が続いた。半導体関連は4月より若干ではあるが落ち込んだ傾向であった。</p> <p>一般機器(北勢) 輸送用機械器具製造業においては、昨年秋から三重県内の自動車メーカーの生産量が大幅に減少したことに伴い、下請け各社は売上高の減少が続いている。一般機械器具製造業の特に建築・土木関連資材の需要が増加し、売上、利益とも増加している。</p>
非製造業	<p>自転車 国内生産の中でも47万9千台は電動アシスト車で、全体の過半数を占めており、いかに海外(中国)生産に頼っているかがわかる。それによって部品製品の欠陥、欠品によりさらにメーカー側も先を読みづらく商機を逸してしまい、小売店にとっては厳しい経営を強いられる事となる。</p> <p>スポーツ用品 インターハイ(平成30年)、国民体育大会(平成32年)に向けて少しずつであるが準備が始まってきた。元々スポーツ用品業界に於けるビジネスチャンスはないが、国体準備員の作業用ブルゾンのポロシャツ等、僅かな数量ではあるが、組合として受注し、納品した。ここ2、3年倒産、廃業はないので安堵している。</p> <p>旅館 5月のGWは休日が続く、天候にも恵まれ県内各地とも賑わっていたようであり、その期間はどこも前年を上回る集客があったようである。GWの後の週は例年閑散となるものの、翌週よりは通常通りの集客に回復していたが、今年は伸びが弱く、全体的には低調であった。</p> <p>総合工事業 受注高は対前年同月比で20%の増となったが、絶対量が不足しているため、景況が好転するには至っていない。</p>



平成27年度
中央会事務局組織図
& 主要事務分掌



3月31日をもって杉本孝夫事務局次長が、退職いたしました。昭和52年に入職、以来38年間にわたり県内中小企業組合等の支援に従事しました。組合・会員の皆様のご厚誼に感謝申し上げます。